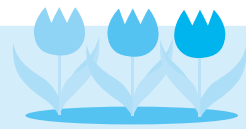


# 代表質問



## 中具市政の今期の目標達成度と新年度予算は

かがやき

升田 勝義 議員

**問** 中具市長の今期の政策目標を改めて問う

**答** 災害・地域経済の衰退・財政悪化・コミュニケーション崩壊の4つの危機に立ち向かい、命への共感、歩いて暮らすまちづくりを根底に、小さな世界都市の実現を目指すこと。

**問** 政策目標の達成感はどうか

**答** 豊岡市のかばん出荷額は5年ぶりに100億



少し賑わいを見せ始めたカバンストリート

円台に回復、外国人宿泊者数も昨年3万4千人余りで前年比2・25倍。コウノトリ米も高い評価を得て輸出も始まった。永楽館歌舞伎も圧倒的人気となり、地域コミュニティも全ての公民館単位でモデル地区がスタートした。

財政の危機は、なお危機の中にあるが、当初見込みに比べると和らいできた。

災害の危機は、自主防災の組織率等が着実に上がって一定の成果を上げてきた。

**問** 今期の最終年に残った課題や反省点を克服できる予算編成ができたか

基本的には人口減少少産策はやってきたが、10年早く取り組むことができれば他の手の打ちようもあつたと反省している。今回の予算が克服できる予算とは言わないが、克服に意欲を込めた予算となった。

### 豊岡市が目指すふるさと教育

**問** この教育の目標は

**答** 豊岡の人・物・事に学び、ふるさとを自分の言葉で語り、誇れる力をも身につけた子どもの育成を目指す。

**問** 具体的内容と成果は

**答** コウノトリ・ジオパーク・産業・文化を学び、豊岡の一員としての役割を果たす子ども、豊岡を離れてもふるさとの魅力を再認識し戻ってくる子を育てることにつながるものと考えている。



## 将来への展望

とよおか市民クラブ

福田 嗣久 議員

### 合併10年経過の総括

**問** 合併後大きな人口減少に見舞われている現実がある。合併10年の総括と将来展望は

**答** それぞれの魅力を合わせるにより経済状況は確実に良くなり人口減少の緩和につながっている。過疎の度合いが大きい所に人口減少がきている。合併前から抱えていた人口減少の圧力になる要因に対し10年間で効果的な対策が打てなかったことは事実。その反省から地方創生総合戦略を策定、実施し、強い決意を持って努力していく。

### 新年度予算と財政

**問** 自主財源の割合が32・5%、大変脆弱な財政構造と表現されているが、どこに向けて発信されているのか

**答** 市職員、議会、市民の皆さんへのメッセージとして伝えている。依存財源の普通交付税は合併算定替えの縮減等により、し出合いの場の拡大を図る。民間団体の婚活イベントの公募、事業所同士での婚活イベント等、即効性のあるものを積極的に取り組んでいく。社会増対策は、移住・定住促進プロジェクト等、移住・定住促進事業の2つを柱に展開したい。



安産、子授けを祈願。春の鬼子母神祭

今後減少していくことから、自主財源確保に向けた取組みで持続可能な財政構造を構築したい。

# 代表質問



## 市民がくらしやすい街こそ 地方創生の目標

日本共産党・あおぞら  
豊岡市会議員団  
村岡 峰男 議員



## 28年度へ勇躍スタート!

公明党豊岡市議員  
広川 善徳 議員

**問** 地方創生の課題だと、小さな世界都市への挑戦で欧州を中心とした観光客増加や保育園児からの英語学習などが進んでいるが、市民の暮らしへの支援は消極的すぎないか、子どもの医療費は改善されたが、県下他都市との格差は残されたままだがどうか

**答** 小さな世界都市への挑戦と足元の政治の両立が在るとの指摘は当然のことだ。今、市民の足元が脅かされている。危機にある。その原因を取り除く対応が小さな世界都市ということだ。医療保険制度は、相互扶助だ。一部の年齢層を無料化することは不適切だ。

**問** シカの駆除が目標を超えそうだ。駆除し、補助金を申請するのに、今年から前歯2本と駆除した鹿と狩猟者が一緒に写った写真の添付が必要となった理由を問う



駆除したシカとのツーショットはいただけない

**答** 処理要領が改正された。ワナで捕獲する狩猟者は、自動シャッターで写すことになり、憤慨している。写真の右に頭と決めれば不正はできない。猟友会の高齢化も進んでおり、新たな困難を押し付けるべきではないがどうか

**問** 本市の経済状況をどう捉えているか

**答** 実質GDPは平成21年度から25年度で2・3%の伸びを示している。年度間では3%からマイナス2%の間で増減している。景気はほぼ横ばい状態で推移している。

**問** 日銀のマイナス金利政策は、本市にどう反映すると考えられるか

**答** 金融機関に大きな影響があると考える。融資の増加が域内を循環し、業況は上向き可能性があるという認識だ。

**問** 2020年に外国人観光客受け入れを昨年の約3倍の10万人達成目標だが、物理的に可能か

**答** 受け入れはまだまだ余裕がある。

**問** 「認知症あんしん大作戦」の詳細を聞く

**答** 二つのスローガンを掲げている。まず、認知症予防のできるまち。次に、認知症になっても安心して暮らせるまちだ。今年度、認知症見守り模擬訓練を実施する。

**問** 該当の方に杖とか靴などに貼るバーコードシールを作る計画はどうか

**答** 27年度事業で計画しており、3月末にはしっかりとしたものを作りたい。



防災訓練で子どもたちもバケツリレー

**問** 群馬県高崎市でのGPSを使った高齢者あんしん見守りシステムの取組み報道があった。本市もこういう取組みが必ず指示をした。

**答** 今後検討したい。

**問** 中学生が地域の員として防災訓練に参加できる体制の取組みとは

**答** 中学生が役割をもって参加することが大事であり、校長会で訓練日はPTA行事の日程調整や、部活動を中止するよう指示をした。